

59 年 4 月 20 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町5番地  
電話 0425 (51) 1511 (代表)

# 市議会だより



好天に恵まれた入学式!!

少し緊張気味なピッカピッカの一年生

仲良く手をつなぎながら小学生の仲間入り

— 四月八日二小入学式で —

活力ある街づくりを目指して

# 59年度一般会計予算決まる

## 総額 117億6,420万円

今年は例年になく厳しい冬となり、春が待ち遠しい三月八日第一回定例会が開かれました。この定例会は、会期を二十六日までの十九日間と定め、昭和五十九年度福生市一般会計や一般職の職員の定年等に関する条例などを審議いたしました。

昭和五十九年度福生市一般会計予算は、二十六月の最終日に討論を行い、起立採決の結果賛成多数で原案どおり可決されました。

景気低迷の影響を受け、本年度予算も低い伸び率にとどまりました。

ここ数年景気回復の兆しが見えて来たが新聞紙上でも伝えられています。現実にはまだまだ先の話のようです。

当市でも財政事情は依然として厳しく、昨年度の当初予算と比較して七億八千七百三十万六千円の増額で、七・一七％の伸びとなり、一般会計と特別会計、受託水道事業会計予算を合わせて百六十二億千六百九十一万六千円と全体的に低い伸び率となっています。これは、下水道事業や区画整理事業等の事業完成に伴う予算の減少によるものでもありますが、多くを依存財源に頼らなければならぬ当市にとっては、きわめて厳しい予算編成となっています。

一般会計の歳入を見ると、市

税が全体の三八％を占め、三億千六百六十四万三千円の増額となつています。

地方交付税は一九・七％の伸び率となっており、国有提供施設等所在市町村助成交付金等については、わずか〇・一％の低い伸び率にとどまり、地方譲与税についても三・二％の減額となり、多様化する住民要望に応じていくためには厳しい財政事情をうかがわれます。

また、歳出面では、市長が施政方針演説でも、都市基盤の整備、教育文化施設の充実等市民福祉の向上を目指し、活力ある市民のまちづくりに向け行政運営を図っていききたいと述べているとおり、歳出予算の構成比を見ても教育費が二五・八％、

### 第1回定例会

#### 審議日程

3月	
8日	本会議
9日	本会議
12日	一般会計予算審査特別委員会(14日まで)
14日	本会議
15日	総務委員会
16日	建設委員会
17日	厚生委員会
21日	議会運営委員会
26日	本会議

○第一日目 会期の決定がなされたのち、五十九年度の市長の政治目標である施政方針演説がありました。引き続き通告のあった六人の議員より、保育行政や防災、ゴミ問題あるいは、基地問題などについて一般質問をし、市長の考えを聞きました。

○第二日目 議案の審議に入り、市長より提案された福生市議会議員および市長の選挙公報発行に関する条例の一部を改正する条例を初めとして、五十九年度福生市一般会計予算など二十二議案と陳情一件を各委員会へ付託しました。五十九年度福生市一般会計予算については、特別委員会をつくり審査することになりました。

また、請願、陳情それぞれ一件と、食品添加物の指定品目拡大反対に関する意見書も採択され、意見書は総理大臣および関係大臣へ提出することになりました。

○第三日目 急ぎ二議案が追加提案されたため、十四日の午後一時から本会議を開き、特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例と一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例が総務委員会に付託されました。

○第四日目 休会中に審査された各委員会の審査報告が委員長からなされ、福生市議会議員及び市長の選挙公報発行に関する条例等が可決されました。

また、五十九年度の一般会計予算は、起立採決の結果賛成多数で原案どおり可決されました。

なお、新たに追加された陳情一件については、総務委員会へ付託しました。

民生費が二・八％、土木費が二一・八％と全体の約七〇％を占めています。

教育費では、快適な環境の中で教育が受けられるようにと二小・六小・一中・二中の除濕工事や五小・六小の講堂の防音工事のほか、市民の方々のスポーツ施設としての屋外運動場や市営プール、野球場などの新設工事も計画されています。

民生費では、体の不自由な方やお年寄りの方の生活環境の改善等を補助するために、各種の手当や事業などが予算化されています。

土木費関係では、市民の生活道路としての道路新設改良工事や交通安全施設の充実、また、

憩いの場としての（仮称）熊牛公園の新設を初めとして三つの公園の計画も盛り込まれています。

その他の施策としては、現在市街化区域の約三七％が区画整理事業により整備されていますが、今後は熊川地区の一部について事業の推進を図るうと、本年度調査委託料を計上しているほか、ここ数年急速な発展を遂げている田園地区に、市民の自主的な地域活動の場に望ましい地域会館の建設も計画されています。



### 定年制条例を可決

六十年三月三十一日から適用

総務委員会に付託された、一般職の職員の定年等に関する条例は、十五日の委員会でも慎重に審議し、定年年齢を六十歳にするという市長提案を原案どおり、全員一致で可決いたしました。

この条例は、地方公務員法の一部を改正する法律が五十六年十一月二十日をもって公布されたことにより、六十年三月三十一日から地方公務員に対しても定年制が適用されるため定めるもので、いままでの勸奨退職制度（管理職員は五十七歳、一般職員は六十歳）の基準日であった十月一日もこの制度の制定により、定年年齢に達した日以後における最初の三月三十一日をもって退職することになりました。

## 特別委員会のやりとりから

予算審査特別委員会（村尾栄次委員長、井上寅吉副委員長）は、十二日から三日間にわたり慎重に審議を行い、起立採決により原案を可決しました。

### 減税による収入減

おおよそ八千万円に

### ＜歳入＞

問 国の減税方策により、地方税においては住民税を主体に三千億円の減税がなされているが、当市の場合どのくらいの減税になるのかお聞きしたい。

答 現状では個人市民税の関係を、一億二千万円程度の減税を見込んでいる。

ただし、法人の均等割が二・五倍になり、四千万円程度、また軽自動車税も五十八年度に対して一〇％程度の税率改正があると思われるので、二、三百万円程度の増収を見込んでおり、八千万円くらいの減収とみています。

減税に対する財源の補填として考えられることは、法人税及び軽自動車税の増収である。

問 昨年の当初予算の中には防衛庁の土地の収入もあったと思われるが、今年それがなくなっているのはなぜか。

答 防衛庁の持っている財産についての御指摘だが、昨年は一部の組合や会社が一時期植木を植えるなどの目的で借りていたわけだが、これを返還したため行政財産となり、土地はあるけれども課税されないということである。

問 個人滞納繰越分の収納率が、前年の四〇％の見込みから三八・五％に下がっている。

下げるを得ない理由は何かお聞きしたい。

答 五十五年以来二十六市でも徴収率が落ち込むという大変厳しい状況であり、昨年十二月の集計でも一・一％落ち込むという数値が出ている。

年度末の徴収見込み等も考慮しながら、結果的には下げざるを得ないということである。

問 五十七年度決算の監査報告書の中で、延滞繰越分で差し押えたまま八年も経過しているものがあるという報告があったが具体的にそれらの理由を聞きたい。

答 電話の加入債権等については現実に処分もしているが、たとえば、十万の滞納に対して土地を差し押えた場合、それを換価することはなかなかむずかしく、時効も五年ということからこれをなくすためにも、差し押えていかなければならないという例によるものである。

### 財源の確保に

これからも努力

問 財源の拡充には努力しなければならぬ。

福生では五千五百世帯ぐらいが都市ガスで、プロパンガスの世帯が一万二千世帯と聞く。

都市ガスにすると安全でもあり、また、ガス税の増収としても見込めると思うが、都市ガスの普及にどのくらい努力しているのかお聞きしたい。

答 都市ガスの普及と言う問題は半公共的なガス供給になり、現在採算性の問題もありませんが、普及しないものと思われ、税金や商工振興等の問題もあり、今後努力していきたいと思っています。

歳 出	
総額117億6,420万円	
その他	8億8,966万円
公債費	6億6,459万円
衛生費	7億103万円
総務費	12億3,077万円
土木費	25億6,398万円
民生費	26億7,852万円
教育費	30億3,565万円

歳 入	
総額117億6,420万円	
その他	15億6,325万円
都支出金	5億9,092万円
諸収入	7億1,292万円
国有所助 等 提在成 供市交 施設村 付金	11億1,736万円
地方交付税	12億5,237万円
国庫支出金	20億5,753万円
市 税	44億6,985万円

### 昭和59年度一般会計歳入歳出予算

常備消防費負担額

一人五千八百余円

《歳出》

問 常備消防費が基準財政需要額の百分の八十で算出されているが、百分の百になるのかどうか。

答 また、約三億円の負担金を東京都へ歳出しているが、三多摩の市町村に総額でどのくらい負担してほしいと言っているのか、人口一人当たりの額もお聞きしたい。

答 東京都からは基準財政需用額の百分の百で要請されているが、三多摩地区消防運営協議会では百分の八十にする交渉を続けている。

また、委託金の総額では、三多摩に百五十七億八千二百四十八千八百円の負担をしてほしいと言ってきている。

福生市の一人当たりの金額は五十八年四月一日現在の人口で割ると平均で一人五千八百六十八円となっている。

問 熊川地区の土地区画整理調査委託料が四百五十万円計上されているが、調査の範囲とどのような調査をするのか伺いたい。

答 調査の範囲としては、熊川駅から昭島境の都立多摩工業高校、また南の方は都道の奥多

摩街道と、その範囲に挟まれた地域である。

面積は約六十五ヘクタールくらいで、調査の内容は、市街地の環境評価と基本構想と二つに大別されるが、さらに広域的条件調査や基本構想の細分化した調査も予定している。

努力していきたい

老人給食の回数増

問 老人給食事業の回数を増やす考えはないか。

また、単親家庭援助事業は、父子家庭を主に都に準じて行うということだが、母子家庭にも適用されるのかどうかお聞きしたい。

答 老人給食については、五十九年度に年間千二百食を予定しており、月三回となっているが今後は月四回に増やすよう努力していきたい。

また、単親家庭の家事援助事業については、都の要綱に沿って実施するわけだが、これは父子、母子家庭にも対応できると考えているが、今後も充実するよう努力していきたい。

問 屋外運動場の新設について計画と規模について聞きたい。

答 四種公認三百メートルのトラック、テニスコート四面と



夜間照明を付ける予定でいる。

施設の内容は、管理棟の中にシャワー室、更衣室、また四十～五十人が入れる会議室等を配置し、駐車場も必要な台数は確保していきたいと思っている。

なお、管理運営については、高齢者事業団にお願いしたいと思っている。

問 ゴミ減量運動も最近、その成果も上がって年々搬出量が減ってきている。

今後も続けて運動してもらえよう奨励金を上げる考えはないかどうか伺いたい。

答 ゴミ減量運動については日ごろより町会長さんなどに協力をお願いし、成果も上がっている。

現在キロ二円二十銭の奨励金

## 意見書

### 食品添加物の指定品目拡大反対に関する意見書

われわれは、厚生省が食品添加物の指定品目拡大の方針を固めたことと仄聞するが、加工食品の氾濫する現在、われわれは日常の生活において安全性に疑いのある食品添加物の摂取を避けたい状況におかれており、食品添加物の多量摂取時の相乗毒性の危険性を憂慮しているものである。

よって、当市議会は、国民の生命と健康を守る立場から、酸化防止剤BHAの使用禁止延期措置を解除し、食品添加物の指定品目の拡大を行わないよう強く要請するものである。

(この意見書は、総理大臣および厚生大臣に送付されています)

については、今後十分検討するつもりでいる。

問 アナライザー設置工事に関する費用が五十八年度に比べてかなり増額されているが、その理由を伺いたい。

答 昨年の場合、教室の改良が九十七平方メートルで七百万円、機器の購入が一千万円であったが、本年度については、教室の改良が百三十平方メートル必要となり工事費も九百万円と増額している。

なお、機器については一千万円で購入する予定でいる。

## とうろん

## 討 論

## とうろん

|| 反対 ||

基地に依存しない

自主的な財政運営を

|| 反対 ||

市民要求に反する

冷たい予算編成

|| 賛成 ||

厳しい状況下でも

好ましい経常収支

本予算は、横田基地依存、安保税を基本とした予算であり、自主的財政運営という面からは大変貧弱であると言わざるを得ない。

基地に依存することで市が成り立つ構造は、当市が戦後背負ってきた宿命的なものと思うが、新たなまちづくりを考えるためにも、基地依存経済でないものを理事者は大胆に打ち出す時期に来ていると思う。

歳入歳出においても、人件費比率が少ないことが目玉であるというが、物件費の中で人件費と変わらない支出がふえている。

また、総体的に予算が実質的に増加した分は、結局のところ基金を取り崩して計上したものと見受けられるが、それが遠い将来にわたる維持、管理、運営についてまで目算のある予算とは思えない。

一人の市民として住みよい福生市を考える上からもこのような形でない予算を望み、反対討論とする。

福祉・教育予算を削られ、市民の生活はますます苦しくなっている。

福祉施策は大部分が前年度並みの水準に置かれ、教育施策は学習等供用施設、プールの新設等幾つかの市民要求は盛り込んでいるが、多くの父母の要求でもある中学校給食の実施や小学校の修学旅行等の補助金は据え置かれたままであり、まことに冷たい予算となっている。しかも、財政面では、これまでため込んできた都市施設整備基金や財政調整基金等があり、これらを十分に活用すれば市民の切実な願いが実現できるものである。

また、基地問題についても、市民は様々な公害に悩まされ、夜も眠れないという現状を政府に強く訴えるべきであり、何事も政府の言いなりではなく、きっぱりとした態度をとり、市民の命と暮らしを守り、安心して暮らせる市政を目指すことを要求して反対討論とする。

厳しい状況下において、本予算は前年度比 7.2%増で編成され、かつ経常収支比率も昨年度を下回る好ましい結果となっている。

歳入では、国の厳しい財政状況にもかかわらず、基地交付金や補助金等、基地関連予算が昨年度を上回ることを評価する。

また、税収は課税客体の適確な掌握に努め、税収向上に努めるとともに、負担公平の原則に立った適正な受益者負担の検討も今後必要と考えられる。

歳出においては、市の基本構想に基づく実施計画に沿った予算編成であり、下水道事業の促進を初め各種事業が盛り込まれており結構なことと思われる。

財政的には、都市施設整備基金を充当し、行政水準の低下を招かない方策をとっているが、今後さらに積極的な行政推進を図るとともに、財政確保に向け努力されることを要望し、賛成討論とする。

# 一般質問



第1回定例会では  
6人の議員が一般  
質問を行いました

## 商業振興上必要な

### 西口再開発事業

**質問** 西口再開発は、本市の有史以来の大事業であるが、景気が低迷している折から地元でも積極的に取り組むことができないのが実情ではないかと思っ

かつての商圏であった隣接す

る市町に大型店が出店し、消費購買力が著しく減少していることも事実であるが、関係者の意識の高揚を図る上からも、市長の積極的な事務所の設置、あるいは職員を派遣する等の取り組みが必要と思われるがどうか。

また、銀座通り商店街は、道路も狭く一方通行等で危険が伴い、購買力の低下が目立っている。大型店の誘致、駐車場の設置などにより、顧客を確保する考えがあるかどうかをお聞きしたい。

**市長** 西口商業の地盤沈下は、都市施設の立ちおくれを初めとする幾つかの問題が一環となっており、都市環境の改

善、商業振興につながる街づくりをすることにより、他の地域を含めた社会的利益につながる大きな要素があるものと思っ

ている。  
本市全体の商業振興上からも西口再開発事業は必要であるとするのが、私の基本的な考えであるが、当面公共施設計画をテーマに進めていくことで地元協議会の了承も得ており、事務所の設置、あるいは職員の派遣についても現在検討しているところである。

また、銀座通り商店街の御提言は、現在大型店の誘致が大変厳しく、各方面の意見を聞くとともに通商産業省の意向も必要となっている。  
駐車場の設置についても場所



的な問題もあり、今後調査、検討をさせていただきたい。

### 消防署の指導により

#### 防災活動の充実を図る

**質問** 昨年東京都では、災害に強い都市づくり、都民の防災行動力の充実強化など、今後五年間実施すべき震災対策を総合的に示している。  
災害が発生した場合、単に避

難するだけでなく、市民ひとりひとりが日ごろから心の備えを持ち、訓練を繰り返し災害に立ち向かう行動力、すなわち、通報、消火、避難誘導ができる力を養っておかなければならないと思っ

ている。  
昨年、当市で実施された防災訓練への参加者数および実施内容、また、市民防災組織の充実強化についてどのような計画があるのかお聞きしたい。

なお、市内に据え付けの消火器数と年間使用された数および

今後増設する考えがあるのかどうかも伺いたい。

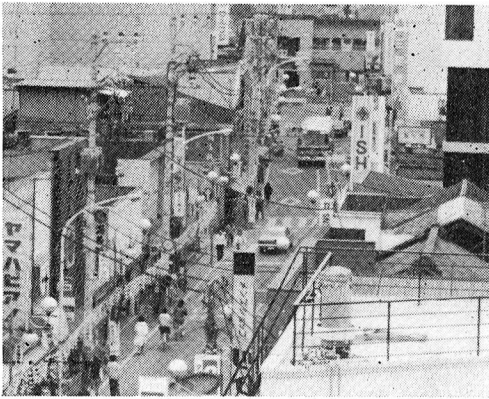
**市長** 災害時に被害を最少限に抑えるためには、家族、あるいは地域、職場が協力し対応することが必要であり、自主防災組織の充実、強化は主要な課題となっている。

現在、当市では地域の方々の御協力により、二十六地区で自主防災組織が結成されており、残る九地区においても結成準備中であると聞いている。

市としても、今までにトランシーバーやヘルメット等の資器材を配備し、五十九年度においては、消防署の指導をいただきながらリーダーの研修会、手引書の作成等、充実した活動が図れるよう努力していきたい。

**市民部長** 昨年実施された防災訓練への参加者数は、総数千六百六十六人となっている。

また、訓練の内容については、地区訓練場での出火防止、初期消火、応急救護等七項目、中央訓練場ではこのほかに、本部



西口再開発事業職員の派遣も検閲中……

運営、交通規則、起震車訓練等十四項目の訓練を行っている。

なお、消火器については、現在市内に六百十二本配置し、昨年四月以降の使用本数は、火災時の初期消火で六本、訓練として二十五本使用している。

今後の対応としては、管理に重点を置き、必要な場所には増設していきたいと考えている。

### バイパス管の布設により

#### 下の川の流水を緩和

質問 下水道の汚水管整備が九〇%以上完了している当市では、今後雨水排水対策が事業の中心となるものと思われる。

すでに幹線が完成し、枝線を促進する状況であるが、年次計画により積極的に実施していく考え方があるのかどうか。

また、下の川は現在六本の幹線が流入し、計画では八本になるとされている。

降雨強度一時間五十ミリメートルと聞いているが大丈夫なのかどうか。田園地域は、市街化が進み、万が一溢水が起これば大変な事態になりかねないが対策を考えているのかどうか。

なお、蓋かけをし遊歩道等にすることを、あるいははけを利用した小公園などの計画があるのかどうかお聞きしたい。

市長 現在、事業認可に基づく雨水幹線がほぼ完了するところであり、今後は幹線に流入させるべき雨水を適切に排除できるように年次計画の見直しも含め、努力していきたいと思っております。

また、下の川については、一部かさ上げ等により対応してきたところであるが、市街化の進展により流出量も増加しており、本年度本町幹線への流入、福生団地までのバイパス管の布設を図る予定である。

なお、蓋かけ等については、大きな財源が必要であり、基地排水の占める割合も大きいことから防衛施設庁へ補助金の要望をしている。

#### 五十九年度に実施したい

#### 本六会館周辺の雨水対策

質問 本町六町内の会館周辺は、雨水に悩まされている。

昨年、善処方をお願いしてきたが、今後どのような処置をされるのかお聞きしたい。

市長 御指摘の点については大変迷惑をかけ恐縮している。降雨時でも安心できるように五十九年度において既設の吸込み槽にポンプを設置し、市道

の側溝に排水管を接続する工事をしたいと考えている。

## 万全な態勢が必要な

### 産休明け保育の実施

質問 保育所は、働く婦人の子どもの健やかな成長に不可欠なものである。

千三百万人を超すといわれる働く婦人の約七割が既婚者であり、学齢前六歳未満の子どもを持つ四人に一人の母親が働いているともいわれている。

このような状況の中で、施設の問題や受け入れ態勢も必要とは思われるが、産休明け保育を実施し、定員割れや経営の健全化を図る必要があると思われるかどうか。

都下二十六市の産休明け保育の現況と、ゼロ歳児保育の定員数が四十八名と聞く当市の現在の措置数と五十九年度の申し込み状況をお聞きしたい。

また、都立保育園の移管について、その後の経過と市長の考え方をお尋ねしたい。

市長 産休明け保育については、すでに市内保育所の園長会議に提示し、関係者からいろいろ意見が出されている。人的、物的にも万全な態勢が必要とされる問題であり、今後十分検討させていただきます。

また、都立保育園の移管については、都知事から協議された旨の文書がきており、都の動向により話し合いに応ずる考えではあるが、条件面や



いつも明るく元気な園児たち

問題点等もあると思われる、議会側とも十分協議しながら対処したいと思っております。

福祉部長 二十六市の産休明け保育の現況は、たくさんある保育所の中で、一園でもやっているというものを合わせて十四市である。また、当市のゼロ歳児保育三月一日現在の措置数は三十一名であり、五十九年度における申し込み者数は二月一日現在三十六名という状況である。

#### 条件の明示がされない

#### 都立保育園の移管問題

質問 都立保育園の移管については、東京都から協議したい旨の申し入れもあり、やむを得ず交渉の場に着かざるを得ない状況のようでもあるが、市の基本的な姿勢は都がみるということに変わりはないのかどうか。

市長 先ほどの一般質問でもお答えしたとおり、都からは何ら条件等が明示されていないので、しかるべき時点において議会とも相談し対処したいと思っている。二市二町においては歩調を合わせていくということでもあり、知事の要請に対して時期もきており、一応書類だけは出しておきたいと思っております。

### 国に要望している

#### 公共施設の維持費補助

**質問** 市民会館、図書館等の公共施設が整備、充実されているが、これらの維持管理に巨額の経費がかかるという。横田基地という迷惑施設の見返りとして、国の補助事業で整備されたこれらの施設の維持管理について、担税力の弱い当市では、国に負担してもらおうような要望をしているのかどうか。

また、近隣市町の公共施設の使用料および維持管理費がわかればお聞きしたい。

**市長** 御指摘のとおり、公共施設の維持管理費は年々増加しており、国からの補助は、学校、保育園の一部を除けば現在交付されていない。

市としても再三防衛施設庁には陳情しているところであるが、現状では困難な情勢であり、全国市長会等とも強力な陳情を重ねていきたいと思っている。

**教育次長** 他市との公共施設の使用料等の比較については、市民会館で、福生市が五十七年度使用料収入二千八百九十七万三千五百六十六円に対して、総費用が一億五千五百四十四万四千三百円、昭島市が二千七百九十九万

七千四百八十円に対して、一億五千四百三十八万九千四百八十八円、立川市が一億千八百二十万八千八百七十七円に対して、二億六千四百四十九万七千五百八十一円となっている。

また、野球場の使用料は、一時間当たり千円から千三百円、ナイターの場合は三千円から三千三百円程度となっているが、

## 多摩川の浄化は

### 環境改善により努力

**質問** 多摩川の浄化についてお尋ねしたい。

① 延長約九十キロメートルの多摩川流域の中で、福生の区域だけがもっとも汚染されているのかどうか。

昨年九月の議会で市長は、清

維持管理費については改修等も含まれているとは思われるが、立川市の三百八十六万二千円から府中市の六千九百五十八万円となっている。

なお、テニスコートの使用料についても、各市一時間当たり二百円から四百円となっているが、維持管理費についてはそれぞれ野球場同様差異がある。

流を取り戻すために常時放流を都知事に要請しているとのことであったが、その後、関係官庁との具体的な交渉をされているのかどうか。

② 都市下水路から放流される汚水の原因は、生活排水とさ

れているが、公共下水道が完備されれば当然解消されるわけである。

この区域での当市の水洗化は八九％となっており、問題は隣接する市町からの生活排水である。

目標年度の短

縮、あるいは公共下水道への切り換えの進展などをお聞きしたい。

③ 多摩川の野焼き問題については、三月末日まで燃やさない約束を履行すれば具体的な交渉に入ると聞いているが、市民は交渉が円満に進展し、一日でも早く解決することを望んでいるが、市長の考えを伺いたい。

**市長** ① 五十七年の五月、都知事との対談の折に改善方を申し入れたわけだが、これまでも東京都に対して要望もし、環境庁にも訴えている。

水利権等大変むずかしい問題もあり、長い運動も必要と思われるが、今後も清流を取り戻すためにも最善の努力をしていくつもりである。

② 水質浄化の解決策は公共下水道の整備と水洗化の普及であるが、二市一町とも順調な進展をみており、水質検査の数値も年々良くなっている。

都市下水路組合でも水質改善計画が作成され、目標年度に向かって水質の浄化に努力している。

③ 二十年來の問題ではあるが、これからの交渉がまとまれば解決するものと思っている。しかるべき時期に議会へも相談したい。

## 議会日誌

1月	13日	全国基地協議会陳情
	18日	東京都三多摩地区消防運営協議会、全国基地協議会陳情(24日まで)
	20日	議会運営委員会、東京都市収益事業組合議会
	24日	市議会だより編集会議
	25日	山口県岩国市視察来市第一回臨時議会
	26日	議員研修会
	27日	全国市議会議長会基地協議会役員会議
	30日	青森県上北町視察来市
2月	8日	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会
	10日	全国市議会議長会基地協議会総会(9日まで)
	13日	東京都市議会議員研修会
	14日	横田基地対策特別委員会正副委員長防衛施設庁へ陳情
	15日	厚生委員会、三多摩上下水第三委員会、西多摩農業共済組合議会行政視察(15日まで)
	16日	建設委員会
	17日	東京自治会館組合議会
		全国市議会議長会基地協議会関東ブロック役員会議



# 熊川地区整備のため

## 五十九年度に調査を実施

**質問** 当市では古くから土地区画整理事業が実施されているが、多摩河原の一部を除きすべてが福生地区であり、熊川地区は著しく遅れている。

先日、市長が発言された熊川地区の区画整理事業について、その区域、計画決定の時期など概要がわかればお聞きしたい。

また、昭島市が発表している拜島駅周辺整備計画の概要報告書の策定にあたっては、当市の意向も打診されているものと思われるが、その内容についてもお聞きしたい。



調査が予定されている熊川地区

また、拜島駅周辺の整備計画について

また、ゴミ処理に要する市民一人当たりの経費はどのくらいになっているのか。

は当市でも資料の提出をしており、熊川地区の調査を実施するに当たっては、昭島市の協力もお願いし、十分協議していくつもりである。

なお、奥多摩街道の拡幅促進については、五十五年度から陳情をしており、五十八年度の測量調査に続き、事業決定、用地買収が五十九年度から始められるよう、先日陳情してきたところである。

実施の段階においては、地元の意味も十分反映させていきたいと思っている。

### 検討いたしたい

#### 焼却炉購入者への補助

**質問** 四十六年に東京都が、「ゴミ戦争」を宣言してから今日まで、一般家庭から排出されるゴミの量は増大の一途をたどっている。

家庭で処理できるものではなく、ただ処理してもらおうというゴミ減量の観点から焼却炉および生ゴミ処理容器の購入者に対して補助する考えがあるかどうか。

また、ゴミ処理に要する市民一人当たりの経費はどのくらいになっているのか。

また、ゴミ減量運動の実績ともあ

せてお聞きしたい。

**市長** ゴミ減量対策については、町会、その他の団体による古紙回収を主眼に運動を推進しているが、ゴミ処理経費の節減のため清掃だより等でのPRにも努めている。

また、焼却炉購入者に対する補助制度については、過去に実施していた経過があるが都市化による家屋の密集でばい煙等の問題もあり現在廃止している。

生ゴミ処理容器についても樹木や菜園などの肥料としても利用できる家庭に限られるなどの問題もあるが、ゴミ処理経費の節減が図れるものであれば十分検討させていたいただきたいと思っている。

**市民部長** 市民一人当たりのゴミ処理経費は、六千五百七十円となっている。

また、古紙回収の実績は百四十二団体で三百十九・六トンとなっており、これらに対してキロ当たり二円二十銭の補助金を出している。



20日	横田基地対策特別委員会
22日	三多摩上下水第一委員会 八高線電車化促進期成同盟会陳情
23日	三多摩上下水第二委員会 東京都市議会 議長会総会、大分県豊後高田市視察来市
28日	西多摩農業共済事務組合 議会
3月	
1日	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会、 狭山火葬場組合議会
2日	議会運営委員会、福生伝染病院組合議会、東京都市収益事業組合議会、和歌山県田辺市視察来市
3日	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会
5日	西多摩衛生組合議会
8日	第一回定例会(第一日目)、全員協議会、議会運営委員会
9日	第一回定例会(第二日目)
12日	昭和五十九年度福生市一般会計予算審査特別委員会(十四日まで)
13日	議会運営委員会
14日	第一回定例会(第三日目)
15日	総務委員会
16日	建設委員会
17日	厚生委員会
21日	議会運営委員会
26日	第一回定例会(第四日目)、全員協議会

### 全く無人化ではない

#### 学校警備の切り替え

質問 小・中学校の警備がいままで有人警備であったものが、一部途中から無人警備になっっていくと聞いている。

二十六市の中でも無人化から有人化に切り替えている市もあるが、ここに至るまで学校現場あるいは、PTAとの話し合いも持たれたものと思われるのでその経過をお聞きしたい。

また、夜間、学校が無人化になることは、非行のたまり場になりかねない心配もあるがどうか。

なお、いままで委託していた警備会社との対応についても伺いたい。

教育次長 安全性や経費の面から西多摩地域のはとんどの市町で機械警備を実施しており、当市でも関心を持ち視察を行ってきている。

機械警備の内容は、平日および土曜日が教職員の勤務終了時から午後十時まで、日曜、祭日については、午前九時から午後十時まで有人とし、それ以後機械警備に切り替えていくということであり、全くの無人化になるわけではない。

また、組合とは、一月九日から五回にわたり話し合いを重ねてきたが、その中で幾つかの問題点も出されてきたが二月二十八日一応の了解を得ている。

Aの事業等には一向に差し支えないことを説明し、業者に対してはかねてから実施の方向で検討していることを話しており、了解もいただいている。

## 河川区域の整備は

### 建設省と協議し努力

質問 当市が広域避難場所に指定している多摩川河川敷とその周辺整備は市民に親しまれる場所としても必要欠くべからざるものである。

多摩川から五日市線鉄橋間の堤防が今だ未完成のままになっているが見直しはどうか。

また、加美緑地が整備されたが玉川上水に沿った道路の整備、上水にかかる橋の架け替え

質問 当市が広域避難場所に指定している多摩川河川敷とその周辺整備は市民に親しまれる場所としても必要欠くべからざるものである。

なお、南公園が避難場所として指定されているが、道路をバイク等がスピードを出して走り危険な状態である。

何か方策を考えているのかどうかもお聞きしたい。

市長 五日市線鉄橋上流の堤防は、五十五年度に築提されたものであるが、河川審議会の経過を経たものと違う部分があり、もう少し川の中に入れるよう修正方を申し入れているところである。

野焼き問題が解決しただけで、工事着手することになっていくが、近年、河床が上がっている状態も見受けられその対応に



整備が待たれる玉川上水の側道

についても要望している。いづれにしても河川区域の整備については今後も建設省と交渉を重ね努力していきたい。

建設部長 加美緑地の周辺整備については、五十八年度で設計が終わっている新堀橋の架け替えを六十年年度に実施したいと思っている。

また、砂利線あとの歩道橋も現況のままでは危険でもあり、何か夢のあるような形で計画を進めていきたいと思っている。

なお、上水に沿った道路は、水道局と民地との境界がはっきりしていない部分があり、早期に解決できるよう努力するとともに、南公園についても下の川の改修を含めて検討させていただいた。

### 通告は受けていない

#### チームスピリット'84

質問 チームスピリット'84は長い期間の訓練でもあり、普段の三倍近くの離着陸数で騒音も多くなっている。

今年は雪の日が多く、昨年に比較し飛行回数も減っていると聞かれるが、市長はこの演習について基地あるいは、防衛庁の方から通告を受けていたのかどうか。また、二月二十七日C5

## 第1回定例会を 傍聴された市民の方々

(敬称略)

- |    |    |
|----|----|
| 東浦 | 春浪 |
| 松山 | 清  |
| 清水 | 忠  |
| 木村 | 輝幸 |
| 井上 | 啓  |
| 吉池 | 俊男 |
| 内田 | 一男 |
| 島田 | 英喜 |
| 中野 | 末夫 |
| 鈴木 | 幹雄 |

Aギヤラクシーから核魚雷ではないかと疑われているアスロックが搬送されている。

実際に運ばれていたのかどうか、基地からの通告はあったのかどうか。

なお、十二月から二月までの離着陸数について、昨年との比較を昼夜別に伺いたい。

市長 訓練の通告については基地からも、防衛施設庁からも受けていないが、毎年繰り返しの演習でもあり夜間訓練等の騒音の関係、安全性について司令官に会って申し入れをしている。また、アスロックの関係についても連絡はきていない。

司令官との話し合いの中では、輸送基地という関係から連絡、補給、休養などで機種の違った飛行機も飛来し、いろいろな物資も入ってきているが、基

地の安全性についてはあらゆる施策を講じているとのことであった。

**市民部長** 十二月から二月までの離着陸数の比較については五十七年十二月が二千四百九十八回に対して、五十八年十二月が二千五百四十四回と四百四十四回減少している。

また、時間帯については、午前七時から午後七時まで二百七十九回、午後七時から十時までが百三十七回、午後十時から翌朝の七時までが二十八回とそれぞれ減少の数値が出ている。

なお、五十八年一月と五十九年一月についても総数で二百六回、五十八年二月と五十九年二月もやはり二百八十五回と減少している。

### 軍事訓練の演習等

#### 情勢をみながら対処

**質問** 米韓合同軍事演習チームスピリット<sup>84</sup>が二月一日の未明から開始され、横田基地もあわただしい動きをしている。

今回の演習は二十万人を越す史上最大規模のもので、実戦さながらの訓練が三月中旬まで行われ、横田がその出撃基地の役割を担っていた。

核輸送用のコンテナの搬入が

確認されたり、核攻撃能力を持つ飛行機の飛来で、市民の安全と生活が脅やかされるような危険な演習を即時中止させるべきと思うがどうか。

また、横田基地に核シェルターをつくり、核戦争に突入した場合生き残り作戦を立てているとも聞くが、市長はこの核シェルターについてどのような見解を持っているのか。

六月に米太平洋艦隊に配備が予定されている核巡航ミサイルトマホークを備えた米艦隊の日本への寄港にも反対すべきと思うが市長の考え方をあわせてお聞きしたい。

**市長** チームスピリット<sup>84</sup>は、軍事的、国際的な問題であるが横田基地が何らかのかわりがあり、市民生活に影響を及ぼすことがあれば、行政的立場から最善の方策を講じていききたいと考えている。

また、核シェルターについては過日の新聞報道で知ったわけだが、国会でも衆議院で質問され、私も防衛施設庁へことの真意を確認しているわけだが、はっきりした回答を得ていない。

今後の情勢の推移に関心を持って対処したいと考えている。

なお、トマホーク配備艦の日本への寄港については、非核三

原則を堅持しているわが国にはあり得ないものと信じている。

## 保管処分が難しい

### 乾電池等の有害ゴミ

**質問** 乾電池や蛍光灯に含まれる水銀物質からいろいろな公害が発生していることが指摘されているのか。

このような有害ゴミを市で処理することは評価しているが売業者に対する指導はどうなっているのか。

また、ゴミを出す市民には、「清掃だより」等でPRしているようであるが、袋の配布等、有害ゴミに対する啓蒙運動も含まれている。

さて今後の対策を伺いたい。なお、差し当たっては保管することであるがいつごろ処分できるめどがたつのかかわかればお聞きしたい。

**市民部長** 有害ゴミの収集については、三月から処理するというところで始めたわけだが、保管が大変難しく万全を期しながら現在リサイクルセンターで保管している。

また、業者に対する指導については、業界からもその旨浸透されているとは思われるが、市の方からも協力方を要請するつもりであり、市民へのPR・収集方法についても清掃だよりに示したとおり、当分の間は家庭にある紙袋等を利用していただくことで様子を見ていきたいと思っている。

なお、最終処分

聴 傍 会 議  
し ま し ょ う

次 の 定 例 会 は  
6 月 で す

の点については、市長会あるいは担当者会議の中でも、三多摩地域廃棄物広域処分組合に保管や処分の方法を検討していた大きくよう申し入れをしている。

### シルバーホーンの設置

#### 電話局でも努力を約束

**質問** 市内には難聴者といわれる方が八十九名いるといわれている。

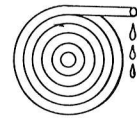
一歩外に出るといろいろな悩みがつきまとうこの方々のために家との連絡がとれるように市内の公衆電話にシルバーホーンを設置する考えがあるかどうか伺いたい。

また、現在シルバーホーンを設置、利用されている方々に対して補助をする考えがあるかどうかもお聞きしたい。



回収された廃乾電池の山・山・山……

市長 公衆電話にシルバーホーンを設置するには、卓上型公衆電話のみに設置可能等の問題もあるが、電話局長との話し合いの中でも最大限の努力をする



パイプ

# 傍聴

市議会の傍聴は、本会議と委員会とでそれぞれ取り扱いが異なっています。

本会議は公開が原則で、だれでも自由に傍聴ができ、傍聴の手続きは、傍聴席入口に備えている傍聴人名簿に氏名、住所、年齢を記入するだけで傍聴できます。

委員会は、公開の原則は適用されず制限公開制となっていますが、委員長の許可を得た人が傍聴できるようになっています。

これは、委員会が本会議の内部審査的な機関で、そこでは本会議と異なって自由活発な発言が期待されることと、委員会室が狭く公開に適する構造になっていないことが主な理由です。

傍聴の手続きは、議事事務

との約束を得ている。また、設置者への補助制度については実態を把握し十分検討させていただきたい。

局の職員に傍聴の申し入れをする職員が委員長に伝え、委員長が委員会委員に傍聴の可否について相談をし、許可されれば傍聴ができることとなります。

しかし、委員会室が狭いので現在は、委員会室に入れる人は五人までとなっております。その他の人は放送設備のある隣室で傍聴してもらうことになっていきます。

なお、公開の原則が適用される本会議には、議場の秩序を保持し、円滑な議事を運営するために傍聴規則が定められていて、傍聴席入口に細かい事項について掲示されています。

本会議では、市民の皆さんの生活に関係のあるいろいろな問題について、市長などに問いただす一般質問や各種条例、予算、請願、陳情等の審議が行われます。市の行政を知る絶好の機会でもありますので、皆さんの傍聴をお待ちしております。

## 第一回臨時会

二月二十五日

本年最初の臨時会が、一月二十五日開かれました。

この臨時会には、五十八年度の一般会計補正予算と三つの特別会計補正予算が提案されましたが、いずれも人件費がらみの補正予算であり、一般会計予算では、歳入歳出それぞれ八十八万四千円を減額し、予算総額百二十二億四千二百三万円を原案のとおり可決いたしました。

### 陳情

### 請願

### 採択

○請願第五十八―四号

食品添加物の指定品目拡大の反対を厚生省に求める意見書採択に関する請願書

南田園三―三 一六―二〇二

井上 直美氏

―昭五八・一一・二八提出―

○陳情第五十八―十九号

厚生省の食品行政に関する陳情書

本町二

天田 君子氏

―昭五八・一二・一三提出―

### 継続

○陳情第五十九―一号

国立病院・療養所存置に関する陳情書

武蔵村山市学園二―三七―一丸毛 静香氏

―昭五九・二・二四提出―

○陳情第五十九―二号

外国人登録法（指紋捺捺など）の是正に関する陳情書

福生五五四

李 夏林氏

―昭五九・三・八提出―

### 審議未了

○陳情第五十八―六号

大幅減税要求に関する陳情書

青梅市河辺町六―二七―二木暮 龍彦氏

―昭五八・八・三一提出―

○陳情第五十八―七号

大型間接税導入反対に関する陳情書

青梅市河辺町六―二七―二木暮 龍彦氏

―昭五八・八・三一提出―

○陳情第五十八―八号

申告納税制度改悪反対に関する陳情書

青梅市河辺町六―二七―二木暮 龍彦氏

―昭五八・八・三一提出―

○陳情第五十八―十号

申告納税制度改悪反対に関する陳情書

青梅市青梅二五九

段上 増雄氏

―昭五八・九・一二提出―

○陳情第五十八―十一号

大幅減税要求に関する陳情書

青梅市青梅二五九

段上 増雄氏

―昭五八・九・一二提出―

○陳情第五十八―十二号

大型間接税導入反対に関する陳情書

青梅市青梅二五九

段上 増雄氏

―昭五八・九・一二提出―

### 取り下げ

○陳情第五十八―四号

玉川台町会集會施設建設に関する陳情書

熊川一、四三三―一六

太田 隆氏

―昭五八・八・三〇提出―

### あとがき

訪れの遅かった春真っ只中…若葉の息吹きも伺えます。市議会だよりもタイトルを一新し、59年度のスタートです。